

女性の「ときめき」を捉える心理尺度の作成

女性がときめくときにどんな感情になるのかを把握するため、20代～60代の女性122名を対象にアンケート調査を行いました。具体的には、「ときめき」を感じると想定される2つの場面「憧れの化粧品を手に入れたとき」「憧れの身近な異性と偶然遭遇したとき」を想像させ、それぞれの場面において、様々な感情を表す言葉61語(いらいらした、すてきな、陽気な、気がかりな、など)について「全く当てはまらない(1点)」から「非常によく当てはまる(6点)」までの6段階で評価させました。

次に、この回答を用いて因子分析(※1)を行い、ときめいた時の感情構造を調査したところ、「不満」、「平穏」、「動揺」、「幸福」、「強気」と表現できる5つの因子で構成されることが分かりました。これらの因子に含まれる言葉を、各因子4語ずつ20語選び、ときめく気持ちを数値化する『女性の「ときめき」尺度』を作成しました。(※2)

※1 因子分析:多数の項目に対する回答から、回答者の反応が似ている共通した因子を見つける統計手法。心理研究でよく用いられる。

※2 日本福祉大学健康科学論集(2019)22巻 p9-17

女性の「ときめき」尺度(抜粋)

因子の名前	不満	平穏	動揺	幸福	強気
項目	いらいらした など4項目	落ち着いた など4項目	うろたえた など4項目	すてきな など4項目	気合の入った など4項目

＜女性の「ときめき」尺度＞
5つの因子を表す20項目からなる尺度。
各項目について、「全く当てはまらない」から
「非常によく当てはまる」までの6段階で評価を行い、
感情をスコア化する。

